

□ コンクリート採取試験会社登録申請書類の作成方法

2017年10月

- ※1 申請書類は、下表の登録申請必要書類一覧の順番でファイリングして作成すること。
- ※2 申請書類には、赤枠で囲ったタイトル(タイトルを簡略化しても良い)の見出し(インデックス)を付けること。
- ※3 敷地及び養生水槽には寸法を記入し、面積及び容量の根拠となる計算式を記載すること。
- ※4 各階平面図には寸法を記入し、作業面積の根拠となる計算式を記載すること。  
(この場合、設備機器の設置・収容する部分の面積を差し引くこと。)
- ※5 組織図、主要職員名簿のどちらかには、全職員の名簿を載せること。
- ※6 主要職員が昨年10月1日から本年9月30日までの1年間に出勤した日数を整理した出勤日数一覧表(別紙5参照)及び出勤簿の写しを添付すること(出勤簿には各社員の印があること)。
- ※7 高強度コンクリート採取試験会社の申請を行う場合は、一般コンクリートと高強度コンクリートそれぞれ別に分けた作業手順書が作成されていること。(兼用は不可。)
- ※8 養生槽の排水や研磨後の排水処理をどのように管理しているのかを記入すること。また、事業所がある地域の排水基準とpHの測定記録等を添付すること。
- ※9 資料は正、副、副の3部提出してください。
- ※10 ファイルの表紙及び背表紙には、申込範囲(一般か高強度か)と申請会社名が分かるようにしてください。

書類の申請 ※1		※2	形式、記載事項等
1. 登録審査申請書			指定用紙「コンクリート採取試験会社登録審査申請書(平成29年度)」に記入。
2. 申告書			指定用紙「高強度コンクリート採取試験会社申告書」に記入。
3. 法人の登記簿謄本(写)			直近3ヶ月以内のもの。
4. 不動産(土地及び建物)の登記簿謄本(写)			賃貸借の場合は、賃貸借契約書(写)及び <b>貸主に関する誓約書(別紙1参照、貸主が生産加工業者等、試験機関、建設業者及びそれらの経営者でないことの借主の誓約書)</b>
5. 施設等の概要	(1) 付近見取図(及び案内図)		方位、道路及び目標となる建物
	(2) 配置図		縮尺、方位、敷地の境界線、敷地内における建築物の位置、敷地に接する道路の位置及び幅員、養生水槽位置 ※ 敷地図面には寸法を記入し、敷地面積の根拠となる計算式を記入する。養生水槽には寸法(縦・横・高)を記入し、容量の根拠となる計算式を記入する。 <b>※3</b>
	(3) 各階平面図		縮尺、方位、各室の用途、機器類の位置 ※ <b>作業面積や養生槽容量の根拠となる寸法と計算式を記入する。※4</b>
6. 職員等の状況	(1) 業務文書		組織管理規程、就業規則、苦情処理規程、教育訓練規程、教育訓練計画、罰則規程、外注管理規程等 ※ 申請書に記載した規程類及び雇用契約書、苦情処理記録、教育実施記録、外注契約書等を添付資料として提出する。
	(2) 組織図		別紙2参照 <b>※5</b>
	(3) 主要職員名簿		別紙3参照 ※ 申請調査書に記載した主要職員(経営者を含む)の直近1年間(昨年10月1日～本年9月30日)の出勤日数一覧表(別紙3参照)及び出勤簿(写)を添付資料として提出する。 <b>※6</b>
	(4) 資格証明書(写)		採取に関する資格証、コンクリート技士(主任技士)、実務講習会受講証明書等
7. 作業手順書等			<一般コンクリート作業手順書> 試料採取、温度測定、スランプ試験、空気量試験、供試体作製、供試体管理(現場での管理も含む)、塩分測定の作業手順書等 <高強度コンクリート作業手順書> 試料採取、温度測定、スランプフロー試験、空気量試験、単位水量試験、供試体作製、供試体管理(現場での管理も含む)、塩分測定の作業手順書等 ※ <一般コンクリート作業手順書>と<高強度コンクリート作業手順書>それぞれ別のものが作成されていること(内容の一部が同じであっても良いが、兼用は不可)。 <b>※7</b>
8. 排水管理規定等			排水管理規定、地域のpH(ペーハー)に関する排水基準、pHの測定記録等 <b>※8</b>
9. 採取データシート			見本(無記入のもの)及び資格を有する採取実務担当者(申告書に記載した実務担当者)が業務を実施したことが分かる採取データシート(数枚)
10. 料金表			
11. 役員名簿			役員名簿、生産加工業者等及び建設業者からの兼職・出向となっていないことの代表者および役員の誓約書
12. 株主名一覧			<b>所有株数を明記した一覧表</b> 、生産加工業者等及び建設業者の所有株の合計が20%を超えていないことの誓約書